

平成29年度

第5回 鞍手町庁舎等建設検討委員会

会 議 録

(概要版)

平成 29 年 9 月 25 日

於：鞍手町議会議事堂

第5回 鞍手町庁舎等建設検討委員会

- 1 開催日 平成29年9月25日(月)
- 2 開催時間 開会14時00分(候補地等現地視察13時00分から)
閉会15時00分
- 3 開催場所 鞍手町議会議事堂
- 4 出席委員
委員長 藤井睦彦
副委員長 由衛久子
委員 許斐英幸 松山進
小長光隆 小島美智子
小川和男 郡司島敏亨
堀角泰正 田中二三輝
相葉富雄 有田勝美
阿部哲
- 5 欠席委員 なし
- 6 事務局 藤原光徳 石田正樹
- 7 推進本部 三戸公則 小長光弘平
白石秀美 立石一夫
筒井英和 梶栗恭輔
大鶴友寛
- 8 傍聴者 なし

鞍手町庁舎等建設検討委員会会議録

1. 候補地等現地視察

- ・候補地等現地視察後、議事堂集合

2. 開 会

- ・司会より開会
- ・資料の確認

3. 委員長あいさつ

- ・藤井委員長よりあいさつ

4. 議 事

- ・設置要綱第6条第1項の規定により委員長が議長として議事進行

(1) 庁舎等建設候補地の再検討について

藤井委員長

それでは事務局より資料20について説明をお願いします。

- ・事務局から【資料20】庁舎等建設の候補地及び規模機能について(中間答申)(案)について説明

藤井委員長

資料20について事務局より説明があったが、意見質問はないか。

有田委員

墓所の移転についてはどの程度まで話が進んでいるのか。また、文化財になるような墳墓などがないのか。

事務局 藤原

墓所の関係については、8月19日に説明会を行ったが、それ以降は開催していない。事前意向調査の結果が大体出揃ってきており、もう一度、墓所所有者全体で集まっていただき、こちらから改めて説明を行うよう考えている。概ね移転に反対はないと感じているが、移転先の場所が遠いと言われている方もいるので、丁寧な説明をしていくしかないと思っている。

有田委員

説明を丁寧に行い、協力してもらえるように努めてほしい。

田中委員

付帯意見の中身は十分網羅されていると思う。議会の全員協議会の中でも意見が出ていたが、庁舎への入り口部分がどのようになるのかということと、現段階では駐車場の高さの予定とのことだが、実際にその高さで入り口部分の坂の角度などが問題ないのか等を考慮しながら、現在の想定よりも低くなることなども含めて柔軟に考えてもらいたい。

それと全く別の話であるが、後程、中間答申の前に町長に発言したいことがあるので、その時は許可してもらいたい。

藤井委員長

入ってこられたら許可する。今の発言について回答はあるか。

田中委員

入り口部分の道路の付け方など、ゾーニングを行う際に十二分に考慮し、角度など無理のないようにしてもらいたい。

事務局 藤原

先の全員協議会の中で、障がいを持った方などが車椅子等で来られた時に、現駐車場の高さでは、道路から高くなりすぎるのではないかという指摘があった。ゾーニングをする上で削る場合もあるので、十分考慮しながら検討していきたい。住民の方、議会に対しても丁寧な説明を行いながら進めていきたい。

藤井委員長

今、公共施設というのはバリアフリー（での建設が前提）になっているので、十分考慮してやってもらいたい。

許斐委員

隣接する民有地について「可能な限り配置計画に含むよう調整に努めること」と書いてあり、これには費用もかかってくると思うが、どういう形になるのか。また、総合福祉センターの集約化には予算的なものも多くかかってくると思うが、国や県からの財源は総額の3分の1程度にしかならないということであるが、その辺が分かれば聞きたい。

事務局 藤原

隣接する民有地については、事務局としては、他の町有地との交換ができればと考えている。まだ相手方にも方向性は伝えておらず、答申後、計画を立てるようになれば交渉していきたい。購入をするということは考えていない。

事務局 石田

財源や費用については、現時点の想定事業費が約 36.1 億円であり、そのうち国からの補助金等は 36.9% が算入される見込みで、委員の言われる約 3 割程度となる。関連工事など、実際に作業を進めて行く中で事業費が膨らむこともあるだろうが、その場合でも財源等を十分検討しながらやっていく必要がある。

許斐委員

了解した。もう 1 つ、「総合福祉センターの公園やイベントスペースとしての機能についても、配置計画の検討に含めること。」とあるが、総合福祉センターが（集約する計画の中に）入ったことによって、売却するという話もあるが、その時に公園とかはどのようにする予定か。

事務局 石田

総合福祉センターについては、現時点ではまだ検討に入っておらず、答申後に早急に売却を含めた利活用についての検討に入りたい。施設が多くあることは町にとって良いこととは思いますが、国平均の倍近い施設面積を保有しているという現実も町としては考慮していかなくてはならない。スクラップアンドビルドという考え方が、今後、必要になってくる。この先の施設計画では、ランニングコストについても、今まで以上に念頭に置いた形でやらないと、町の財政というのはかなり厳しくなってくる。総合福祉センター機能を役場庁舎に複合して持たせると打ち出している以上は、総合福祉センターについては廃止を念頭に置いた検討の必要がある。ただ、いろいろな意見があると思われ、売却や利活用というのはこれからの検討の中での話になってくる。

許斐委員

3 年という期間が区切られており、後々になっていろいろな問題が起こらないよう検討をお願いしたい。

藤井委員長

今からの検討ということであるが、これも早く結果を出すということをお願いしたい。他にはないか。

一同

なし。

藤井委員長

他にないようであれば、休憩後に答申の方に移っていききたい。

一同

賛成。

～10分休憩・町長入室～

藤井委員長

それでは再開する。まず答申の前に、田中委員から町長に質問があるとのことなので、先に受けそれが終わり次第、答申の方に入っていきたい。

田中委員

去る、平成29年8月27日に開催された子どもフェスタにおける町長のあいさつの折に、新庁舎建設予定地に関する発言があったと聞いた。委員会に事務局案が示されたのは、前回開催された同年8月31日のことであり、町長は自ら委員会に諮問したにも関わらず、委員会を無視した発言を行ったことは委員会を愚弄したこととなり、委員会の存在は、何ら意味を持たないことになる。委員各位は、新庁舎建設に関し真剣に取り組んでおられるが、町長の発言は、各委員の取り組みを踏みにじるものであると言わざるを得ない。今後、委員会での審査を進めるのであれば、町長の謝罪を求める。謝罪無きとなれば委員会を解散すべきである。と思う。委員には理解いただけるものと確信している。

許斐委員

それをしてどうするのか。

田中委員

まず町長から謝ってほしい。

許斐委員

謝るとかでなくで、あなたが聞いたのか。

田中委員

聞いた。

許斐委員

どこで。

田中委員

聞いた人間から聞いた。

許斐委員

それは又聞きではないか。

田中委員

又聞きでも、皆がそう言っているのだから間違いないと思う。聞いた方が大勢おられるのであれば、まず、こういう状況で答申を渡すということが本当に良いのか。おかしいのではないか。委員会の存続に係わる。

許斐委員

それじゃ皆に決めてもらえばいいのではないか。皆が賛成するかしないか。

田中委員

じゃあ聞いてもらいたい。

藤井委員長

皆が田中委員に賛同するのか、許斐委員が言われるように、そこまでしなくてもよいのではないかとということで意見が2つあるが、どうか。

郡司島委員

町長に確認されてはどうか。本人が一番よく分かっていると思う。

謝罪の前に、そういう事実があったのか、なかったのかということで、なかったというのであればそのまま、あったと言われるのであれば次のステージにということで良いのではないか。

藤井委員長

それでは町長よろしいか。

徳島町長

私は当然のことながら皆様方に答申をお願いしている立場であり、おそらく、私が中央公民館で話したときには、中山近辺から小牧近辺、その辺り全体を見渡して「この辺りで、現在、検討委員会にいろいろと揉んでもらっているところ」というような発言を行っている。

藤井委員長

町長の意見を聞いたが、後は委員の意見を聞いてどうするか決めたい。許斐委員はそこまで大げさにしなくても良いのではという意見で、田中委員は謝罪してもらいたいという意見である。

徳島町長

田中委員が言われているのは、私が委員会を無視して発言をしたということだと思うが、そうではなくて、「検討委員会に揉んでもらっているところ」ということをちゃんと喋ったと思う。

藤井委員長

田中委員どうか。

田中委員

町長がそのように言われるのであればそれで良いが、現地が確定されるような表現をしたということも聞いているので、委員会の存在意義があると町長が今でも認めるのであればそれで良い。

小長光委員

田中委員が言われたことを、この中の委員で聞かれた方はいるか。

阿部委員

子どもフェスタには私も行っており、今、町長が言われたとおりの発言だと思っている。場所を特定されたというようなことは、私は認識していない。田中委員が言われるのは、この場所だと特定するようなことだと思うが、そのような発言だった認識はない。

小長光委員

町長がどう言われたのかは、私は分からないが、過去の会議をした時間が、破棄すれば完全に無駄になり、答申も何もない。そうすると私たちは何のために集まっているのかということになる。それは田中委員が個人的に町長に質問しても

らいたい。それが良いか悪いかは私には分からない。

藤井委員長

他にないか。

田中委員

委員長、進めてもらってよい。

藤井委員長

今の町長の発言に納得したということで良いか。

田中委員

納得はしていないが、委員会を進めもらってよい。

藤井委員長

それでは時間が長引くだけなので答申の方に入っていきたい。

一同

異議なし。

藤井委員長

それでは今から答申の方に入っていきたい。答申の際は付帯意見を省略する。

一同

異議なし。

～中間答申書読み上げ～

徳島町長

これをいただくまでに、皆様方にはいろいろな形でご議論をしていただき、本当に感謝を申し上げたい。これをしっかり行政として踏まえながら、前に進めて行きたいと考えている。

～町長退室～

(2) その他

- ・事務局より次回日程（10月後半想定）について説明

4. 閉 会

- ・委員長より閉会